

ママが笑えば、みんなハッピー!

ママゴン

Mamagon Vol.176 December 2020

東三河フードバンクと
地域の子ども食堂



てづくり、てわたし

TAKE FREE

12

子ども食堂の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在中止している施設もごさいます。また開催している施設につきましても、感染拡大防止の措置として、今後中止となる場合もごさいますので、ご注意ください。



家や学校以外の安心で居場所として、子ども食堂は親子の参加を歓迎しています。地域の方々が気軽に立ち寄って、一緒に温かい食事をしたり、学習や遊びができたりしたら親子ともに心強いですよね。今後もこのような子ども食堂が各地域に増えていくといいなと思います。今回は、取材にご協力いただいた7軒の子ども食堂をご紹介します。

あるといいなで始まった東三河フードバンクと同じような想いで開設された「子ども食堂」。食で繋がる温かな想いは、今後さらなる広がりを見せてくれることでしょう。

取材内容

- ① はじめたきっかけ
- ② 利用条件
- ③ 利用者の様子(エピソードなど)
- ④ 運営してみている感想や思い

子ども食堂

豊橋市

豊川市

蒲郡市

田原市



子ども食堂 おとなりさん

明照保育園(2階プレイルーム)
豊橋市牟呂中村町6-1
☎ 0532-31-1419

今後の予定

毎週木曜日18:15~19:30(入場は19:00まで)
※水曜日は、支援が必要な家庭から希望があったときのみ開催



明照保育園に遊びに来た中学生から「友達に一人で晩飯を食べている子がいる」という相談を受けてから試行錯誤の数年間を経て、社会福祉法人の地域貢献活動が推奨されるようになり、29年度から明照保育園内に子ども食堂「おとなりさん」を開設しました。

地域の子育て家庭及び保育園&児童クラブ利用者、小・中・高校や行政から紹介があった子どもや家庭(園児・学童家庭の子どもも250円、その保護者500円、支援を必要とする家庭は無料)

当時は貧困家庭の子たちが利用する場と捉えられていましたが、現在では保護者の憩いの場として活用してもらっています。利用者からは「夫の帰宅が遅く、子どもと二人だけだと息が詰まることから、ここに来るとホッとする」と「子どもが走り回ってしまい、外食できなかったけど保育園なら、安心して食べることができる」という声もあって、それぞれが楽しく過ごしています。

みんなで一緒に食べるだけで自然と笑顔になって心が温かくなるのを感じ、食事って不思議な力があると感じました。今後の展開としては、社会福祉協議会や民生委員さんとの連携や「支援をする・される」という関係だけではなく、協同していく関係づくりも大切にしたいと考えています。

豊橋市

子ども食堂 ふえりこ

豊橋市前田中町13-29
認知症対応型グループホーム フジ
(1階多目的ホール)
☎ 0532-37-1209
(問合せ先:社会福祉法人さわらび会 第二さわらび社)

今後の予定

昨年12月までに17回開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は開催できていません。高齢者施設が会場のため慎重にならざるを得ず、再開のめども立っていませんが、ここをきっかけにボランティアグループができました。



① 愛知県の子ども食堂の開設モデル事業委託の募集があり、選定されたのがきっかけです。

② どなたでも(18歳未満10円・18歳以上300円)

③ 大勢で食事をする機会が少ない子どもにとって貴重な体験のできる場で、食事以外にも学習やレクリエーションなども行っているの、とても楽しみにしてくれています。仕事や育児で忙しいお母さんたちにとっては、ほっと息がつける集いの場にもなっているようです。また、高齢者にとっての居場所にもなっていますが、ここをきっかけにボランティアグループができました。

④ ここに来ることを楽しみにしてくれる子の姿は、スタッフ達の励みになっています。子どももお年寄りも地域の方との交流が増えるだけでなく、役に立っているという関係が生まれ、それぞれがやりがいのようなものを感じてくれていることがとても嬉しいです。高齢者から小さな子どもまで来ていただける利点を活かした活動をしたいと考えています。

